

田和山の森から

第 254 号
令和 7 年 12 月 5 日
里山を育てる会

晩秋のよそおいの田和山

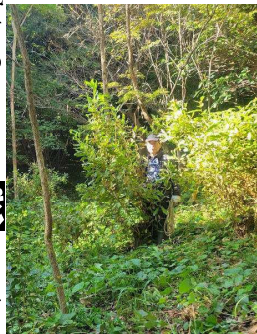


紅葉の名残と落葉の
始まりで、林外と林内
の景色は変わりました。

11 月の作業から

モウソウチク林の本数調整

モウソウチク林内の本数調整の伐採を、月を
またいで行いました。伐
採した 4～5 年生のタケ
は、キンランの株数調査の
ための竹串として活用しま
す。



シイタケ原木の伐 採

シイタケ栽培を持続的に

行うために、今年もクヌギの伐採を東側のクヌ
ギ植栽地で行いました。伐採したクヌギは来春
に玉切りを行い、植菌の予定です。去年伐採を
したクヌギは、萌芽枝が写真左下のように 1
年で 2 メートル以上に伸びており、このまま
順調に育てば、5 年以内には利用可能な太さにな
りそうです。

キンランの増加を目指し林床整理

今年もキンランの発生環境を整えるため、西
側斜面を中心に林床整理を行います。ブナ科以
外の低木やササの刈り払いと、落ち葉掻きを行
います。



12 月の予定

主たる作業

- ・林床整理
- ・シイタケ原木の伐採と萌芽枝の整理

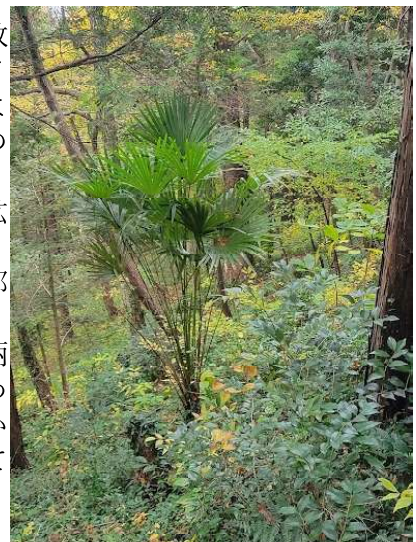
田和山の樹木 第 66 回 シュロ

シュロは、国内に自生する唯一のヤシ科の樹木です。田和山にも数
本のシュロがあり、高さ 5 メートルに達するものや、写真の様に 1 メ
ートルにもならないものもあります。高い方は、畑の跡に人の手によ
って植栽され、尾根付近に自生するのは鳥によって種が運ばれたもの
と推定されます。

ヤシ科の中では、比較的寒さに強く東北地方南部までに分布を拡
げています。

幹は分岐せず真っすぐに伸びる円柱で、枝はありません。幹の頂部
に生じる葉は扇状で、何枚もの細長い小葉が集まってできています。
葉柄は丈夫で持ちやすく、棕櫚箒やハエ叩きとしても使えます。葉柄
の基部にあるシュロ皮は水に強く腐りにくくまた水捌けも良いため
に、シュロ縄(園芸用には欠かせない)、たわしやマット等として用い
られています。このような実用性のため、かつては大切に育てられて
いました。

変わったところで材は、撞木として使われています。



今後の活動予定 12 月 5 日(金)、12 月 12 日(金)、12 月 20 日(土)が年内最終です。令和 8
年 1 月 9 日(金)作業後に新年会、1 月 17 日(土)、1 月 23 日(金)、1 月 30 日(金)。時間は 13:30
から、ただし土曜日はは 9:00 からとなります。

「新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします

去年は、猛暑に加え異常に早い梅雨明けで田和山の植物も少なからず影響を受けましたが、皆様方のご尽力により無事に乗り越え新年を迎えることになりました。田和山周辺の市街化も一段と進み、緑の孤島になりましたが、今年度の活動の目標を「キンランとササユリの株数の増加」に置き、田和山の森の維持に取り組みます。あわせ、新規会員の加入に向けた取り組みをしていきたいと考えています。

具体的な作業は、今年も週一回のペースを守りながら「急がず、焦らず、ゆったり」とした気持ちで、おののの体力に応じ楽しみながら作業を進めたいと思います。

新しい年が、皆様にとって素晴らしい年となることを祈念し、挨拶とさせていただきます。

里山を育てる会会長 竹下幹夫

1 2 月の作業から

林床の整理とカブトムシ

キンランの株数の増加を目指し、西側斜面の林床の整理を進めています。具体的には林床の刈り払いと、落ち葉の掻き取りになります。今年も 11 月から始め、12 月段階で 6 割方終わりました。

この作業で発生した落ち葉を集積し腐葉土を作っていますが、集積した場所では、大量のカブトムシの幼虫がそだっています。このカブトムシを大きく育て活用しようということで、12 月段階で、衣装ケースに 2 箱に移しています。大きく育つこと願うばかりです。

あり、他の樹木と干渉していますので、倒すための準備を入念に行いながら作業を進めます。とりあえず 1 本だけは切り終わりました



1 月の予定

主たる作業

・林床整理・枯損木、雪害木の伐採・カブトムシの養殖

遊歩道周辺の枯損木の伐採

遊歩道の周りで、数本の枯れた木や枯れそうな樹木がありますので、伐採作業を始めました。どの樹木も樹高が 15 メートルを超えるもので

田和山の樹木 第 67 回 アオキ

アオキは、北海道南部から沖縄まで日本各地に広く分布する、アオキ科アオキ属の常緑の低木です。樹高は、高くなっても 3 メートルほどで、枝も幹も緑色となります。

日陰に強い植物として知られ、家の北側やビルの谷間など条件の悪い場所に植栽されることの多い樹木です。葉は厚く光沢があり長さは 8～20 cm 程度です。葉に斑が入ることがあり園芸品種もあります。冬から春にかけて赤い実がなりますが、雌雄異株のため、両方がないと実をつけません。



田和山にあるアオキは、林内整理の際刈り取られることが多いためか樹高が低いものが多いですが、写真左のような斑入りのもの見つけられました。



今後の活動予定 令和 8 年 1 月 9 日(金)作業後に新年会、1 月 17 日(土)、1 月 23 日(金)、1 月 30 日(金)、2 月 6 日(金)、2 月 13 日(金)、2 月 21 日(土)、2 月 27 日(金)。時間は 13:30 から、ただし土曜日はは 9:00 からとなります。